

私がランと付き合いはじめてからもう二十年近くになる。記憶は定かではないが、とあるところで見たとミニカトレアの艶やかな色とその姿に感動し、是非自分も育ててみたいと思った。

電気ヒーターで保温する結構高価なガラスの温室を購入し、本を読みながらおそろおそろ始めたのである。しかし、温室が小さいために、花ですぐ一杯になるし、温室内の温度の調節が真に難しく、思ったように花の管理ができないことに気づいた。結局は二坪ほどの温室を購入することとなってしまった。庭の一部をつぶし、大きな灯油暖房機を装備した温室を作るのである。

ランに全く興味のない妻はいい顔をすればいい。夜お酒を飲みに出かけたり、外で女遊びをする事を考えれば、ランにお金をかけるのは安いものだ！と、わけの分からない理屈を言って温室を作ったのである。

ランを買いに遠くは岡山まで、近くは岐阜の田舎や豊橋まで、休日ともなると自動車を走らせたものである。今では、カトレア、デンドロビウム、オンシジウム、シンビジウム、胡蝶蘭などなど色々な種類のランで温室の中はもう一杯である。中には10年以上おつき会いしてきたランがあるのだが、そのランは可愛くて仕方ない。もう、花の美しさ、珍しさではなく、一緒に困難を乗り越えてきた我が子のような気がするのである。

夏には寒冷紗をかけ、朝夕の水やりと肥料。冬にはランが寒がらないように暖房。暖房のためには灯油を燃やさなければならぬが、週一回の灯油の買い付けと補給。どの段階でも手を抜けば、ランは衰えてしまうのである。花は何も言わないし、困難にもじっと耐えていてくれる。また一方では、手をかけすぎても花は弱ってしまうのである。それぞれのランに合わせた世話をすることによって、ランはきれいな花を咲かせてくれるのである。

株分けしたランが生長し、時期になると花芽を出し、その花芽が徐々に伸び、最後にきれいな花を咲かせてくれる。そしてその花は、家の中に心の安らぎを与えてくれるのである。子供を小さいときから育て、成長し、花咲くのを見るがごとくである。甘えさせてもいけない、厳しすぎてもいけない、個々の個性に合わせて、適度な栄養と水と温度を与え、絶えず見守ってあげることが、花にも人間にも必要なことのようなのである。(山下病院 院長)

9月会員登録状況	
協力会員	41人
利用会員	50人
賛助会員	126人
計	217人

9月有償活動	
在宅活動件数	17件
活動人数	18人
活動時間	243時間
ミニデイサービス利用者	68人
移送サービス利用件数	69件

12月の定例会

在宅支援・12月1日(日)	9時30分～12時30分
野外定例会	
ふれあい・12月1日(日)	9時30分～12時30分
野外定例会	
ミニデイ・12月21日(木)	16時00分～17時00分
事務所	

☆在宅支援定例会の午前中はケアがお休みになります利用者さんご承知ください。お願い致します。

9月介護保険訪問活動	
訪問件数	55件
家事	676.5 時間
複合型	364 時間
身体	218 時間
合計	1258.5 時間

お知らせ

第4回あいち宅老連絡会フォーラム

介護の質を求めて-利用者とのかかわりを考える-

- ◇日時・・・平成14年11月24日(日)13時00分～16時20分
- ◇会場・・・ウイルあいち(あいち女性総合センター)3階大会議室
- ◇内容・・・基調講演 小規模多機能を高める  
講師 高橋誠一氏(東北福祉大学総合福祉学部教授)  
分科会 気持ちいい排泄のために/利用者との関係作り/リスクマネジメント/宅老所あれこれ
- ◇主催・・・あいち宅老連絡会(問い合わせ FAX 052-482-3746)
- ◇参加費・・・2000円



愛知痴ほうフォーラム

「知っとりゃーす? 痴ほうのこと」 入場無料

痴ほうのこと

- ◇日時・・・平成14年11月24日(日)13時30分～16時00分
- ◇ところ・・・ウイルあいち(あいち女性総合センター)4階ウイルホール
- ◇内容・・・第1部 朗読劇 「冬の陽だまり」  
第2部 特別講演 「痴ほうに対する正しい理解」  
講師 長谷川和夫氏(元聖マリアンナ医科大学学長)
- ◇問い合わせ 呆け老人をかかえる家族の会・愛知県支部  
☎ 0562-33-7048 締め切り11月18日

ミニデイサービス便り

大切な外出支援

「あー大きい」と歓声が伝わってくるような表情で写っている写真の中のKさん。

歩行もゆっくりで、視野が狭く視力が弱っておられるKさんは、何とも嬉しい笑みを浮かべ顔くらいの大きさがあるダリアの大輪を、両手で大事なものを包むように触っておられる。

これは、みんなで「なばなの里」へ出掛けた折りの写真の一枚。

花、はな、華に囲まれた皆さんの顔は、どなたもこれ以上ないという晴れ晴れとした顔。

毎回、外出の後に必ず出る言葉が「またどこかに行きたいね」です。体を少し病まれる高齢者の皆さんが、一人ではなかなか出かけられず、違った景色を見てみたい、という強い希望はなかなか実現していない。高齢者への外出支援は、介護予防の意味でもとても大事なことです。

当会では、助け合い活動であるミニデイサービスの送迎をボランティアさんが行ってくださっていますが、高齢社会の中で、移動の方法をみんなで考えることが必要だと外出の度に思いを深くしています。



人生にかかわる

「今日も楽しい1日でした」91歳のMさんから、しみじみとした心からのお言葉をいただいた。幾つもの病気の後遺症を受け止めて、静かに日々をおくられている。

91歳のお誕生会で「91年の月日は短くはなかった。長かったという思いがあります。それは、あの戦争を経験したことにあります」と、たんたんと言われる。

私達は、長い重い人生を過ごして来られた皆様とかかわりをさせていただいていることに心をとめなければならない。

難しい活動ですが、緊張しながら「また、お待ちしております」と言葉をお返し出来るこの助け合い活動に参加出来ることを、スタッフは何とも嬉しいという。

向こうで、今日も移送のボランティアさんがドアを開けてスタンバイです。

平成14年11月のミニデイサービスは

保育園 11月7・28

事務所 11月5・12・14・19・21・26

☆11月21日に事務所で防災訓練を行います

去る、十月十九日と二十日に一宮スポーツ文化センターにて、ボランティア活動展が開催。地域でのボランティア活動が一同に会し、福祉に関する活動展示と交流が行われました。当会は、今年もこれに加えて「まごころ知的障害者の方々が集うふれあい広場」も合流。リズムでリハビリの楽器を囲んで、終始和やかなふれあいの輪が出来ました。

ボランティア活動展終了

11月の予定

- 1日(金) 会報「まごころ」発行
- 3日(日) 定例会(協力員・ふれあい広場)
- 5日(火) ミニデイサービス・ミニデイ委員会 サービス提供責任者会議 (場所・事務所)
- 7日(木) ミニデイサービス (場所・保育園)
- 12日(火) ミニデイサービス サービス提供責任者会議 (場所・事務所)
- 14日(木) ミニデイサービス (場所・事務所)
- 19日(火) ミニデイサービス サービス提供責任者会議 (場所・事務所)
- 21日(木) ミニデイサービス・ミニデイ定例会 (場所・事務所)
- 24日(日) 介護福祉士初任者研修会 名古屋  
あいち宅老連絡会フォーラム ウィルあいち3階  
愛知痴ほうフォーラム ウィルあいち4階
- 26日(火) ミニデイサービス・ミニデイ委員会 サービス提供責任者会議 (場所・事務所)
- 訪問介護適性実施研修会 名古屋
- 28日(木) ミニデイサービス (場所・保育園)
- 理事会
- 毎週月・水・金 ふれあい広場 (場所・事務所)

